

2022年11月18日

舗装材「パークコート®ストーン」に「洗い出し工法」を追加  
～施工の機械化により職人への負担を軽減し、趣のある空間を演出。～

建材の開発、製造、輸入、販売を行う(株)エービーシー商会(本社:東京都千代田区、社長:東川 茂樹)は、天然石+難黄変ウレタン樹脂系舗装材「パークコートストーン」に、新たな「洗い出し工法」を追加しました。

一般的に「洗い出し工法」とは、セメントに砂利などの骨材を入れて塗り広げた後、完全に硬化する前に水で洗い流し、砂利を露出させる日本の伝統的な左官仕上げの一つです。人力による水洗いは、職人への肉体的負担が大きく、仕上がりは職人の技術に左右され、比較的施工が難しいと言われています。

「パークコートストーン」は、天然石をウレタン樹脂で強固に接着した舗装材です。新たに追加した「洗い出し工法」は、土間コンクリートの上に天然石を用いた樹脂モルタルを施工し完全硬化した後、目詰め材をコテで塗り伸ばします。その後、目詰め材が半硬化したタイミングでポリッシャーを用いて天然石表面を露出させます。一般的な「洗い出し工法」と異なり、人力による水洗いが必要ありません。施工を機械化することにより、職人への肉体的負担が軽減します。さらに施工中の廃水を最小限に留めることが可能なため、環境にもやさしい工法です。仕上がりは、既存の「モルタル工法」に比べ、伝統的な和の趣があり、日本建築や公園、遊歩道のほか、商業施設の屋内・外にもおすすめです。

当製品の3年以内の売り上げ目標を3千万円としており、今後も多様な空間への提案を継続していきます。

### 【カラー】



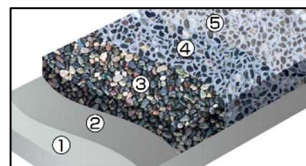
#1010

#1620

#1910

#2410

### 【工法図】



厚さ 約10mm

- ① 下地
- ② プライマー
- ③ 樹脂モルタル
- ④ 目詰め材
- ⑤ トップコート

### 【施工方法】 ※一部抜粋し記載しています。



コンクリート下地に天然石を用いた樹脂モルタルを施工



目詰め材をゴムゴテで塗り伸ばし



ポリッシャーで、天然石を露出し(洗い出し)



トップコートで表面保護

### 【材工設計価格】 ※300㎡以上基準

#1010:22,300円/㎡

#1620・#1910・#2410:26,700円/㎡

このリリースはABCオフィシャルサイト「ニュースリリース」に掲載しています。